

平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスケーアイ  
 コード番号 9446 URL <http://www.ski-net.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 酒井 昌也  
 (氏名) 田川 正彦

TEL 052-262-4499

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	12,335	△9.2	334	△42.5	354	△40.4	288	3.1
25年9月期第3四半期	13,583	4.2	581	10.2	594	16.0	279	61.3

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 388百万円 (△18.9%) 25年9月期第3四半期 478百万円 (62.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	26.55	—
25年9月期第3四半期	25.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	8,803	3,503	37.9
25年9月期	9,035	3,224	33.9

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 3,333百万円 25年9月期 3,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,025	△1.2	582	△23.6	582	△24.4	285	△20.0	26.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期3Q	10,856,500 株	25年9月期	10,856,500 株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	117 株	25年9月期	72 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期3Q	10,856,407 株	25年9月期3Q	10,856,428 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(参考資料) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、消費税増税に伴う消費意欲の低下が懸念され、外食産業を中心に人材確保のため人件費高騰の兆候もみられますが、企業業績については底堅い需要と円安効果が反映され、上場企業を中心に増益基調を維持してまいりました。

このような経済状況のもとで、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は12,335百万円（前年同四半期比9.2%減）、営業利益は334百万円（前年同四半期比42.5%減）、経常利益は354百万円（前年同四半期比40.4%減）、四半期純利益は288百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

#### ①移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、当期3月末時点で携帯電話の普及台数は13,955万台を超えましたが、株式会社NTTドコモiPhoneの販売を開始し、各キャリアとも継続的に販売競争を展開するなか、顧客満足度の向上と、各店舗の総合力アップを図りながら販売促進に努めた結果、当第3四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は前期に比較して減少し、新規・機種変更を合わせ120,454台（前年同四半期比16.2%減）となりました。また、第3四半期の市場動向を見据え、積極的な営業施策を展開した結果、売上高は11,038百万円（前年同四半期比11.1%減）、営業利益は310百万円（前年同四半期比23.6%減）となりました。

#### ②保険代理店事業

コールセンターを拠点とした保険代理店事業につきましては、子会社である株式会社セントラルパートナーズにおいて、当期4月より新潟県新潟市の新潟支店も本格稼働し、販売力と生産性の向上に繋げるほか、複数の保険会社の商品の取扱を継続しております。この結果、前述の商品の販売は順調に推移しましたが、提携ビジネスの効率の悪化と継続率の一部が想定以上に低下した他、新潟支店稼働に伴う販管費の増加により、当第3四半期連結累計期間における売上高は797百万円（前年同四半期比4.9%増）、営業利益は30百万円（前年同四半期比86.3%減）となりました。

#### ③不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、子会社であるエスケーアイ開発株式会社で平成19年8月に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を名古屋市千種区にオープンし、稼働率の向上を図っております。なお、平成25年2月に名古屋市千種区にオープンした賃貸マンション「センチュリースクエア千種」につきましては、平成26年3月に売却し、財務体質の強化に努めております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は89百万円（前年同四半期比2.4%減）、営業損失は6百万円（前年同四半期は4百万円の営業損失）となりました。

#### ④葬祭事業

葬祭事業につきましては、子会社であるエスケーアイマネジメント株式会社は平成21年9月に設立後、平成22年7月に葬儀会館「ティア西尾」を、平成22年11月に葬儀会館「ティア桑名」を、平成23年11月に葬儀会館「ティア東海」および葬儀会館「ティア知多」を、平成25年7月に葬儀会館「ティア碧南」を、それぞれオープンし、今後の需要を見据えた積極的な営業政策を継続し、業績向上に努めました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は427百万円（前年同四半期比25.7%増）、営業損失は4百万円（前年同四半期は50百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の状況は、前連結会計年度末と比較して売掛金が264百万円減少したものの、その他流動資産が144百万円増加したことなどにより、流動資産は51百万円減少し4,347百万円となりました。一方、固定資産は有形固定資産が375百万円減少し、投資その他の資産が174百万円増加したことなどにより、全体で181百万円減少し4,455百万円となりました。その結果、資産総額は232百万円減少し8,803百万円となりました。

負債については、前連結会計年度末と比較して買掛金が377百万円減少したものの、短期借入金が290百万円増加したことなどにより、流動負債は51百万円減少し3,314百万円となりました。一方、固定負債は長期借入金が477百万円減少したことなどにより、全体で461百万円減少し1,984百万円となりました。その結果、負債総額は512百万円減少し5,299百万円となりました。

また、純資産については、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が179百万円増加し、その他有価証券評価差額金が94百万円増加したことなどにより279百万円増加し3,503百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の業績予想につきましては、計画通り進捗する見込みですが、通信事業者の営業施策に不確定要素が内在する他、新事業（太陽光発電事業）の展開による先行投資および子会社の株式会社セントラルパートナーズの7月以降の業績推移に不確定要素がある他、4月から新潟県新潟市の第3コールセンターが稼動したことに伴うコスト増等が見込まれるため、通期の業績予想につきましては、当初の計画（平成26年4月21日付お知らせで公表）を変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,871,789	1,871,875
売掛金	1,435,131	1,171,098
商品	899,702	977,262
貯蔵品	5,186	4,856
繰延税金資産	86,839	77,358
その他	100,285	245,099
流動資産合計	4,398,934	4,347,549
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,291,082	1,677,682
土地	1,067,760	1,040,443
その他(純額)	103,115	368,067
有形固定資産合計	3,461,957	3,086,193
無形固定資産	60,673	80,732
投資その他の資産	1,114,366	1,289,010
固定資産合計	4,636,997	4,455,935
資産合計	9,035,931	8,803,485
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,018,616	641,174
短期借入金	1,250,000	1,540,000
未払法人税等	227,238	166,962
賞与引当金	78,600	52,478
役員賞与引当金	45,760	34,320
その他	745,873	879,987
流動負債合計	3,366,088	3,314,923
固定負債		
社債	230,000	160,000
長期借入金	1,741,085	1,263,901
退職給付引当金	58,857	51,282
役員退職慰労引当金	215,590	230,030
資産除去債務	58,665	60,383
繰延税金負債	105,623	170,073
その他	36,012	49,145
固定負債合計	2,445,833	1,984,816
負債合計	5,811,922	5,299,739

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,364	729,364
資本剰余金	666,862	666,862
利益剰余金	1,335,304	1,514,926
自己株式	△13	△26
株主資本合計	2,731,518	2,911,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	327,841	422,486
その他の包括利益累計額合計	327,841	422,486
少数株主持分	164,649	170,132
純資産合計	3,224,009	3,503,746
負債純資産合計	9,035,931	8,803,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	13,583,236	12,335,891
売上原価	10,020,781	8,841,524
売上総利益	3,562,455	3,494,366
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	1,094,637	1,190,459
賞与引当金繰入額	45,261	52,478
役員賞与引当金繰入額	36,270	34,320
退職給付費用	11,379	11,049
役員退職慰労引当金繰入額	17,090	14,440
その他	1,776,300	1,857,015
販売費及び一般管理費合計	2,980,938	3,159,764
営業利益	581,517	334,602
営業外収益		
受取利息	4,155	548
受取配当金	13,673	18,790
補助金収入	11,100	6,261
その他	7,990	22,033
営業外収益合計	39,919	47,636
営業外費用		
支払利息	23,356	21,978
その他	3,416	6,008
営業外費用合計	26,773	27,987
経常利益	594,663	354,251
特別利益		
固定資産売却益	24,638	262,867
投資有価証券売却益	42,894	—
その他	2,700	—
特別利益合計	70,233	262,867
特別損失		
固定資産売却損	1,543	173
固定資産除却損	640	3,593
店舗閉鎖損失	—	4,909
その他	150	562
特別損失合計	2,333	9,238
税金等調整前四半期純利益	662,562	607,880
法人税、住民税及び事業税	352,565	293,274
法人税等調整額	△9,611	21,272
法人税等合計	342,924	314,547
少数株主損益調整前四半期純利益	319,638	293,332
少数株主利益	40,204	5,146
四半期純利益	279,433	288,186



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	319,638	293,332
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	158,950	94,981
その他の包括利益合計	158,950	94,981
四半期包括利益	478,588	388,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	438,306	382,831
少数株主に係る四半期包括利益	40,281	5,482

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	移動体通信 機器販売 関連事業	保険 代理店 事業	不動産 賃貸・ 管理事業	葬祭事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,419,482	760,105	67,110	336,537	13,583,236	—	13,583,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	24,725	3,897	28,623	△28,623	—
計	12,419,482	760,105	91,836	340,435	13,611,859	△28,623	13,583,236
セグメント利益 又は損失(△)	406,690	225,709	△4,607	△50,842	576,950	4,567	581,517

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	移動体通信 機器販売 関連事業	保険 代理店 事業	不動産 賃貸・ 管理事業	葬祭事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,038,114	797,627	72,260	427,888	12,335,891	—	12,335,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	17,366	—	17,366	△17,366	—
計	11,038,114	797,627	89,626	427,888	12,353,257	△17,366	12,335,891
セグメント利益 又は損失(△)	310,529	30,810	△6,822	△4,898	329,618	4,983	334,602

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

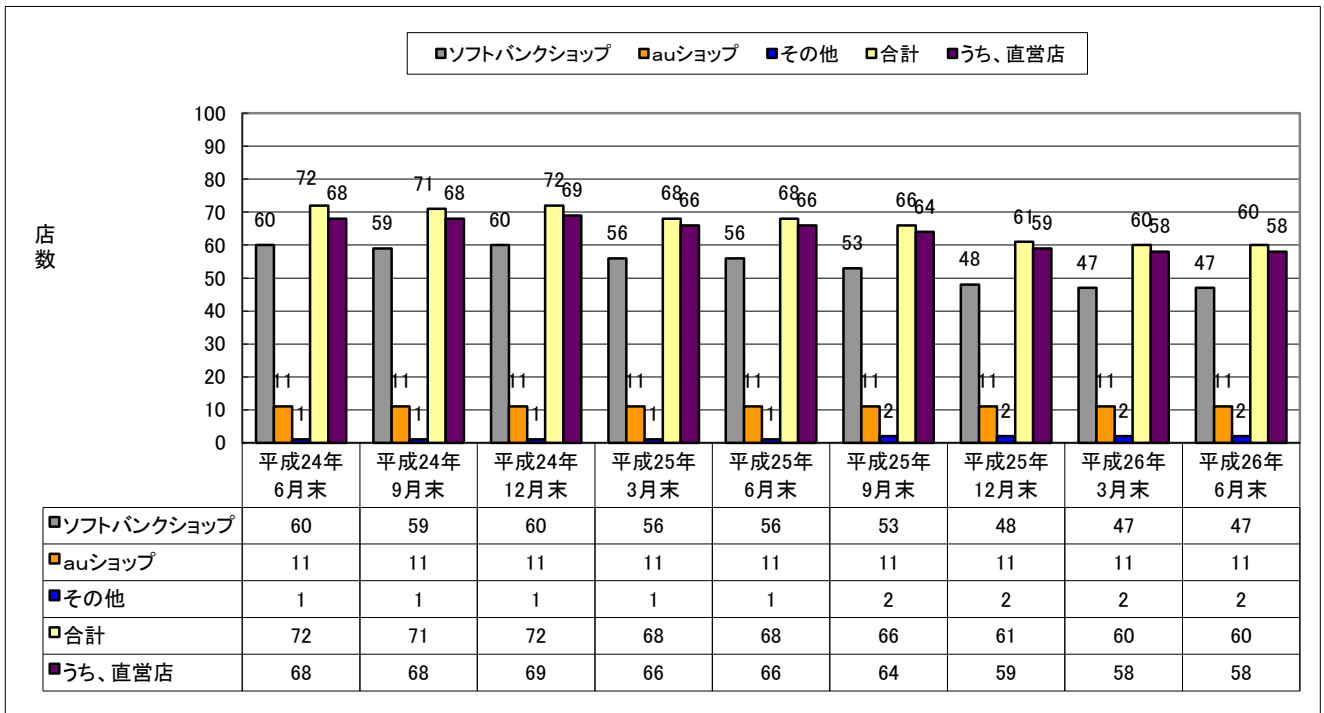
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(参考資料)

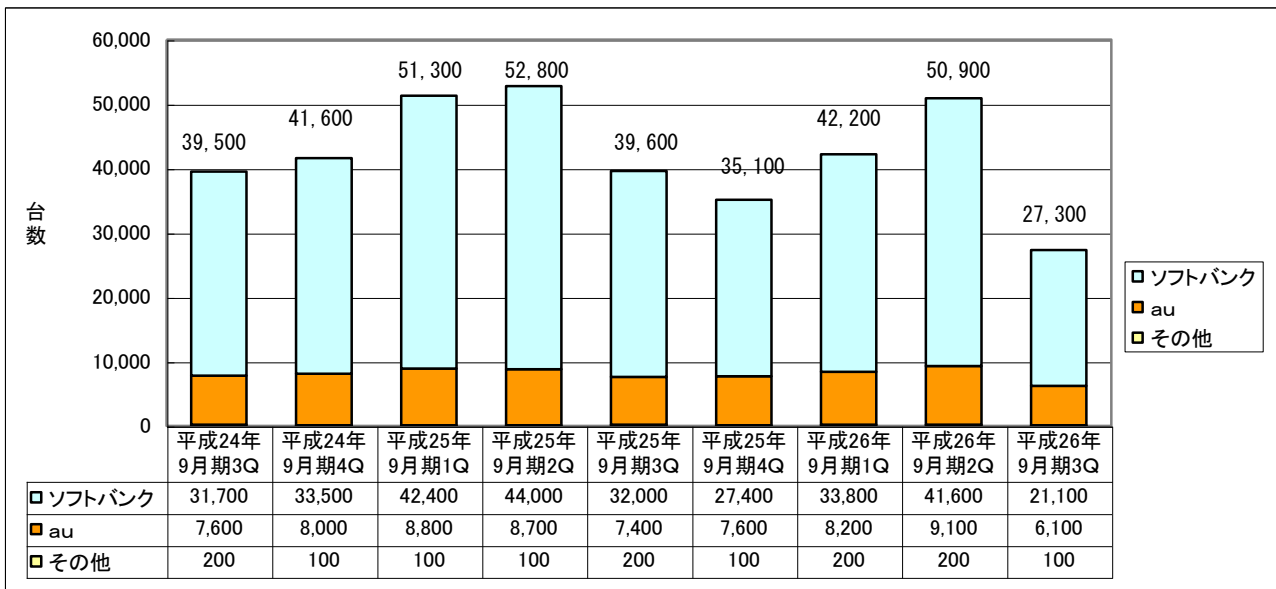
四半期毎の店舗数推移

(単位：店)



四半期毎のキャリア別取扱台数

(単位：台)



なお、台数については百台未満を四捨五入しております。

上記取扱台数に占める新規販売台数の割合及び直営店による取扱比率

(単位：%)

	平成24年 9月期3Q	平成24年 9月期4Q	平成25年 9月期1Q	平成25年 9月期2Q	平成25年 9月期3Q	平成25年 9月期4Q	平成26年 9月期1Q	平成26年 9月期2Q	平成26年 9月期3Q
新規販売比率	47.5	40.2	31.6	47.0	41.7	37.8	32.0	47.6	45.4
直営店取扱比率	96.9	96.9	96.7	97.5	97.7	97.7	97.4	98.0	97.9